



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日
東

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所
コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)牧田 渉 (TEL)03(5410)3861
四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	8,311	6.9	394	△18.2	369	△19.3	168	△32.2
26年2月期第3四半期	7,778	△1.5	482	△30.2	457	△29.0	248	△27.6

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 176百万円(△29.7%) 26年2月期第3四半期 251百万円(△26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	13.20	13.12
26年2月期第3四半期	19.48	19.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	8,830	3,092	34.8
26年2月期	7,870	2,979	37.6

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 3,070百万円 26年2月期 2,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0 00	—	5 00	5 00
27年2月期	—	0 00	—		
27年2月期(予想)				5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	4.2	580	△16.8	530	△17.9	280	△17.4	21.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規2社(社名) 株式会社ニッポンムービー、株式会社ニッポンムービー大阪

除外2社(社名) 株式会社ウイズ・ブレーション、マックレイ株式会社

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期3Q	14,328,976株	26年2月期	14,328,976株
27年2月期3Q	1,567,962株	26年2月期	1,573,962株
27年2月期3Q	12,758,355株	26年2月期3Q	12,753,170株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や積極的な経済政策を背景に、円安の進行や株高傾向が継続しておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、大雨や台風などによる天候不順の影響を受け、個人消費の持ち直しの動きは鈍く、物価上昇への懸念等が見られるため、景気の先行き不透明感が拭い切れない状況にあります。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても、市場は緩やかな回復基調で推移しておりますが、前述のような経済環境の影響を受け、市場の先行き不透明感は拭い切れておりません。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、秋は展示会が多く開催される期間であったことや、平成26年3月1日付で株式会社ニッポンムービーの株式を取得し、株式会社ニッポンムービー及びその子会社4社を新たに連結子会社としたこと等により、売上高は8,311百万円（前年同期比6.9%増）となりました。しかしながら、人員補強等による人件費増の影響や、第2四半期連結会計期間におけるイベント事業本部の東京事業所、及び株式会社ニッポンムービーの事業所移転費用等により販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は394百万円（同18.2%減）、経常利益は369百万円（同19.3%減）、四半期純利益は168百万円（同32.2%減）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業のSP（セールスプロモーション）・イベント部門、TVCM（テレビコマーシャル）部門におきましては、株式会社ニッポンムービーが連結対象となったことから売上高は前年同期を上回っておりますが、受注環境は依然として厳しい環境下にあり、コスト上昇の影響等により、業績は両部門ともに低調に推移いたしました。この結果、広告ソリューション事業の売上高は4,015百万円（同3.6%増）、営業利益は215百万円（同17.7%減）となりました。

テクニカルソリューション事業の映像機器レンタル部門は、期初より積極的な設備投資を進めた結果、秋の展示会シーズンにおいて受注が堅調に推移し、業績は回復基調で推移いたしましたが、ポストプロダクション部門におきましては、編集スタジオは堅調に稼働しているものの、受注・価格競争激化の影響を受け、業績は低調に推移いたしました。この結果、テクニカルソリューション事業の売上高は4,296百万円（同10.0%増）、営業利益は617百万円（同1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて703百万円増加し5,282百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加67百万円、受取手形の増加59百万円、売掛金の増加188百万円、たな卸資産の増加475百万円、繰延税金資産の減少74百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて256百万円増加し3,547百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加185百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて960百万円増加し8,830百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて915百万円増加し4,370百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加854百万円、短期借入金の増加200百万円、リース債務の増加81百万円、未払法人税等の減少172百万円、賞与引当金の減少112百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて69百万円減少し1,367百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少107百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて846百万円増加し5,737百万円となりました

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて113百万円増加し3,092百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加104百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、平成26年3月1日をもって当社の連結子会社でありました株式会社ウィーズ・ブレン及びマックレイ株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、第1四半期連結会計期間において、株式会社ニッポンムービーの株式を新たに取得し、それに伴い、当該会社の子会社である株式会社ニッポンムービー及び株式会社ニッポンムービー大阪他2社を含む合計5社が、当社の連結子会社となりました。(当該5社のうち、当社の孫会社である株式会社ニッポンムービー及び株式会社ニッポンムービー大阪は特定子会社に該当します。)

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,012,485	1,079,891
受取手形	262,809	322,775
売掛金	2,618,090	2,806,223
たな卸資産	335,839	811,082
繰延税金資産	180,195	106,141
前払費用	99,084	81,556
その他	79,842	85,501
貸倒引当金	△9,465	△10,389
流動資産合計	4,578,880	5,282,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	700,876	762,861
減価償却累計額	△159,091	△148,258
建物及び構築物(純額)	541,784	614,603
機械装置及び運搬具	936,589	983,459
減価償却累計額	△724,010	△751,993
機械装置及び運搬具(純額)	212,578	231,465
工具、器具及び備品	251,239	284,151
減価償却累計額	△204,238	△227,993
工具、器具及び備品(純額)	47,001	56,158
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,394,707	1,691,982
減価償却累計額	△499,424	△712,116
リース資産(純額)	895,283	979,866
有形固定資産合計	2,806,531	2,991,976
無形固定資産		
ソフトウェア	48,592	49,285
のれん	—	23,344
その他	7,639	7,609
無形固定資産合計	56,231	80,238
投資その他の資産		
投資有価証券	162,277	215,383
出資金	5,637	577
長期貸付金	11,318	11,318
破産更生債権等	34,210	34,080
長期前払費用	3,921	8,896
敷金及び保証金	166,359	195,310
保険積立金	49,473	49,473
繰延税金資産	37,240	1,993
その他	900	900
貸倒引当金	△42,379	△42,248
投資その他の資産合計	428,961	475,685
固定資産合計	3,291,724	3,547,901
資産合計	7,870,604	8,830,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	704,703	1,559,347
短期借入金	1,400,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	194,134	160,800
リース債務	356,510	438,152
未払法人税等	223,010	50,963
賞与引当金	194,033	81,294
未払金	197,544	238,453
未払消費税等	69,382	59,681
未払費用	54,595	71,083
預り金	16,656	58,233
その他	44,045	52,397
流動負債合計	3,454,616	4,370,406
固定負債		
長期借入金	818,700	710,800
リース債務	588,976	604,652
その他	28,847	51,913
固定負債合計	1,436,523	1,367,365
負債合計	4,891,140	5,737,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	473,833	474,175
利益剰余金	2,269,183	2,373,777
自己株式	△270,627	△269,596
株主資本合計	2,943,532	3,049,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,425	8,254
為替換算調整勘定	10,218	12,819
その他の包括利益累計額合計	12,644	21,074
新株予約権	23,287	22,338
純資産合計	2,979,464	3,092,912
負債純資産合計	7,870,604	8,830,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	7,778,096	8,311,646
売上原価	5,404,005	5,770,461
売上総利益	2,374,090	2,541,184
販売費及び一般管理費	1,891,794	2,146,551
営業利益	482,296	394,632
営業外収益		
受取利息	84	18
受取配当金	1,952	4,305
保険解約返戻金	-	5,359
その他	13,403	6,691
営業外収益合計	15,440	16,375
営業外費用		
支払利息	22,096	19,825
出資金運用損	14,638	15,126
その他	3,221	6,698
営業外費用合計	39,957	41,650
経常利益	457,779	369,357
特別利益		
固定資産売却益	139	305
新株予約権戻入益	10,703	511
特別利益合計	10,842	816
特別損失		
固定資産除却損	1,407	1,984
減損損失	-	1,675
特別損失合計	1,407	3,660
税金等調整前四半期純利益	467,213	366,512
法人税、住民税及び事業税	161,619	89,436
法人税等調整額	57,201	108,707
法人税等合計	218,820	198,144
少数株主損益調整前四半期純利益	248,392	168,368
四半期純利益	248,392	168,368

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	248,392	168,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,067	5,829
持分法適用会社に対する持分相当額	-	2,600
その他の包括利益合計	3,067	8,430
四半期包括利益	251,460	176,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,460	176,798
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,873,963	3,904,132	7,778,096	—	7,778,096
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,955	236,258	240,214	△240,214	—
計	3,877,919	4,140,391	8,018,310	△240,214	7,778,096
セグメント利益	261,574	611,336	872,911	△390,614	482,296

(注) 1 セグメント利益の調整額△390,614千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,015,222	4,296,423	8,311,646	—	8,311,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,530	225,359	226,889	△226,889	—
計	4,016,752	4,521,782	8,538,535	△226,889	8,311,646
セグメント利益	215,331	617,175	832,507	△437,874	394,632

(注) 1 セグメント利益の調整額△437,874千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
重要性が乏しいため、記載を省略しております。